

## オプテックス (コード 6914・東証1部)

業績推移 (連結)

(予想は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常利益		当期利益		一株当利益	一株当配当	配当性向
		伸び率		伸び率		伸び率			
06.6(中)	9,813	+7.3	1,981	+34.2	1,105	+22.9	85.2	20.0	23.5
07.6(中)	11,182	+13.9	2,503	+26.4	1,381	+24.9	81.6	20.0	24.5
07.12(予)	22,600	+11.4	4,200	+7.1	2,430	+6.5	143.4	40.0	27.9

### 赤外線センサの世界的トップメーカー

**特色**...防犯用、産業用センサの専門大手で、赤外線センサの世界的トップメーカー。自動ドアセンサでは国内50%、世界でも30%のシェア。

### 07年6月中間期は2ケタ経常増益に

**好採算品の拡大で2ケタ増収増益に**...07年6月中間期は、売上高は06年6月中間期比13.9%増、経常利益も同26.4%増と、2ケタの増収増益率となり、第1四半期決算発表時の中間期見通し(売上高110億8,000万円、経常利益21億6,000万円、中間純利益12億6,000万円)も上回った。粗利益率の高い屋外用センサが好調だったことや為替面でのプラス要因(1億1,000万円)などにより、販売管理費の増加(約3億8,000万円)を吸収した。売上高を事業分野別にみると、欧州を中心とした海外向けに屋外用センサが好調に推移した防犯事業が06年6月中間期比14.9%増に拡大。また、昨年に北米市場に投入したスイングドア用センサの立ち上がりにより若干の時間を要しているものの、業界全体に広がる安全に対する意識の高まりから欧米で好調な自動ドア事業が同7.6%増に。日本エフ・エーシステムの子会社化と国内、海外での注力製品群の好調な産業機器事業も同9.1%増となった。地域別売上では、主要納入先である警備会社向けの画像記録装置のほか、客数情報システムも好調に推移した国内向けは同8.3%増に。海外向けについても、防犯事業を中心に欧州向けが同33.9%増、北米向けも同18.7%増と拡大した。

### 通期では積極的な開発投資で増益率鈍化へ

**2ケタ増収見通したが増益率鈍化へ**...今期の通期見通しについて、会社側では第1四半期決算発表時に公表した予想値を変更していない。海外マーケティング強化によるビジネス拡大に加え、市場占有率の向上などにより、連結売上高は前期比11.4%増と2ケタ増の見通し。分野別売上予想では、防犯事業が同9.4%増、産業機器事業が同16.9%増となる一方、自動ドア事業は同0.6%減にとどまりそう。新規事業分野や新たなルートへの新製品投入など、下半期には来期以降の成長のために積極的な技術開発への投資を予定しており、経常利益は同7.1%増、当期純利益も同6.5%増と、通期では増益率が鈍化してきそう。年間配当は06年12月期と同じく40円を予定している。

**中期ビジョン**...同社では5年後の2012年に連結売上高500億円を目指している。防犯事業分野では屋外用センサで売上アップを図り、自動ドア関連事業分野では海外シェアアップと客数カウントビジネスの拡大を、産業機器事業分野では画像処理システム分野への展開を強化する方針。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。